

川岸ゼミ復学者向け選考希望者へ

ゼミを希望する学生は、ポータルからの応募の他に、次の課題を面接時に提出してください。課題を提出しない学生は選考の対象としません。

<課題>

佐藤幸治『立憲主義について——成立過程と現代』（左右社、2015年）、佐藤幸治『世界史の中の日本国憲法——立憲主義の史的展開を踏まえて』（左右社、2015年）、古関彰一『日本国憲法の誕生 増補改訂版』（岩波現代文庫、2017年）（2009年版ではありません）、古関彰一『平和憲法の深層』（ちくま新書、2015年）をすべて読みなさい。

その上で、「現行憲法は、連合国軍の占領下において、同司令部が指示した草案を基に、その了解の範囲において制定されたものです。日本国の主権が制限された中で制定された憲法には、国民の自由な意思が反映されていないと考えます。」（自由民主党「日本国憲法改正草案Q&A増補版」2013年10月 https://www.jimin.jp/policy/pamphlet/pdf/kenpou_qa.pdf）といった主張に象徴される押しつけ憲法論について、論じなさい。

なお論述に当たっては、必ず学術的文書の体裁をとること。

- 字数：5000字程度。
- 形式：A4判用紙に適切なポイントの活字で、また適切な行間を保ち、5頁以内にまとめること。

田中愛治ゼミ復学者向け選考希望者

課題：高根正昭（著）『創造の方法学』（講談社新書）の第1章から第5章迄を読み、その内容の要約をA4版4頁～8頁にまとめて、提出すること。

〆切は、3月12日（月）午後5時迄に、政治経済学部事務所に提出すること。

田中孝彦ゼミ復学者向け選考希望者

課題を課します。

『冷戦の歴史にかかわる興味のある事件について、自分で調査し、A4 で 4 枚以内でエッセイを書いてください』参考文献リストだけでなく、引用部分には中を打つように。

提出期限は、3月14日(水)23時59分まで。

提出方法は、メールで、takahiko.tanaka@waseda.jp まで。

Subject 欄に「田中孝彦ゼミ志望」とかならず書いてください。

File 形式は、PDF でお願いします。

谷藤悦史ゼミ復学者向け選考希望者

3月15日までになぜこのゼミを選考したか、卒論を何のテーマで書くのかを明記して提出しなさい。

日野愛郎ゼミ復学者向け選考希望者

過去のゼミ生(1期～5期)の卒業論文の中から1つを選び、その論文を2000字前後で論評してください。

論文集は下記 URL から入手できます (<https://goo.gl/xm88Mj>)。

課題は、応募締切日までにメールアドレス (airo@waseda.jp) に提出してください。

2018/01/29

2018 年度政治学演習復学者・EDESSA 学生選考
谷澤正嗣ゼミについて

●出願の前に気をつけること

まず演習要項を熟読してください。質問や相談があれば、myazawa@waseda.jp
まで遠慮なくメールください。

●さらに詳しいことが知りたい人は

選考の方針、参考図書、これまでのゼミでやったことなどについて知りたい
人は、上記の谷澤のアドレスに、必ず waseda-net のアドレスから、「谷澤ゼ
ミ資料希望」と件名欄に書いてメールを送ってください。添付ファイルで資
料を送ります。メールはお早めに。

●選考課題について

選考課題（レポート）があります。掲示を確認してください。

※次頁参照

以上

2018/01/29

谷澤正嗣ゼミ
2018年度復学者・EDESSA 学生選考課題

次の二つの課題のうち、一つを選んでレポートを提出することを、出願の条件とします。提出しない学生は選考の対象としません。

ワードプロセッサを利用して作成しプリントアウトしたものを、選考の際に持参下さい。書式はA4横書き、字数は3000字以上4000字以内。質問や相談はmyazawa@waseda.jpまで。

〈課題A〉

以下の課題図書を読んで、課題に答えなさい。

齋藤純一『不平等を考える』（ちくま新書、2017年）

課題：課題図書の第I部を読み、問題提起と考察を行いなさい。その際に、①著者の主張を1500字前後で適切に要約しなさい。②提起したい問題は著者の主張のどの部分にかかわるのか、正確な箇所（頁）を引用とともに示しなさい。③どのような理由からその問いを提起したいのか、なぜその問いが重要であると考えなのか、詳しく述べなさい。

〈課題B〉

政治理論に関する論点を含む任意の書物または論文を選んで読み、要約、論評しなさい。ただしこの課題を選ぶものは、事前に（出願書類を提出するよりも前に）選択する書物または論文についてメールで谷澤の承諾を得ること。

以上

厚見恵一郎ゼミ復学者向け選考希望者

厚見恵一郎（西洋政治思想史）ゼミ 選考課題——書評の作成と提出

- プラトン『ソクラテスの弁明』（岩波文庫、新潮文庫）
- マックス・ウェーバー『職業としての学問』（岩波文庫）[同じウェーバーの『職業としての政治』と間違えないように注意]
- マイケル・サンデル『これからの「正義」の話をしよう』（ハヤカワ・ノンフィクション文庫）
- 中江兆民『三酔人経綸問答』（岩波文庫）
- 宇野重規『保守主義とは何か』（中公新書）
- 重田園江『社会契約論』（ちくま新書）
- 塩川伸明『民族とネイション——ナショナリズムという難問』（岩波新書）
- 松元雅和『平和主義とは何か』（中公新書）

1. 上記8冊のうちどれか1冊を選んで読了する。
2. その1冊から任意に論点を設定して、本文の参照箇所（ページ数）を明示しつつ、2,000-2,500字で論評する。自分で考え、自分の言葉で書くこと。
3. 論評をA4用紙にプリントアウト（学籍番号・氏名を記入）して、3月17日（土）の選考面接時に必ず持参・提出すること。

選考面接日時に都合が合わない場合や、ゼミについて質問がある場合は、atsumi@waseda.jp まで遠慮なくご連絡ください。
連絡はwaseda.jpのアドレスから出してください。

荒木一法ゼミ復学者向け選考希望者

応募を検討する場合は、3月6日(火)までに荒木(kazaraki@waseda.jp)にメールで連絡してください。なお、すでに連絡済みの場合はあらためて連絡する必要はありません。

有村ゼミ（環境経済学）希望者へ

有村俊秀

ゼミ論でどのような研究が行いたいかを考え、**研究計画**を提出してもらいます。準備として関心のあるテーマに関連する図書または論文を読んでください。その上で、**A4サイズ2枚分**に、研究計画をまとめてメール添付で提出してください。なお、文書作成にはワードを用いてください。提出物には下記の情報を含んでください。

- ① ゼミ論で対象としたい具体的な環境・エネルギー問題または環境・エネルギー政策
- ② ゼミ論で検証したい仮説、及び（現時点で思いつく範囲で）検証するための手法
- ③ 読んだ関連図書・論文
- ④ 名前と学生番号

宛先：**zemiubo_arimura@yahoo.co.jp**（ただし、メールの件名を「ゼミ応募」とすること）

締め切：**3月14日（水）**とします。

近藤康之ゼミ復学者向け選考希望者

課題

ゼミで研究したいことも申込用紙の「志望理由」欄に書いてください。

申込用紙の「研究計画」欄には、次の論文の要約を書いてください。

Lin, J. ; Pan, D. ; Davis, S. J. ; Zhang, Q. ; He, K. ; Wang, C. ; Streets, D. G. ; Wuebbles, D. J. ; Guan, D. (2014) China's international trade and air pollution in the United States. Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America 111(5), 1736-1741

<https://dx.doi.org/10.1073/pnas.1312860111>

要約は次の4点が分かるように書いてください。

- ・どのような社会・経済・環境の問題に取り組んでいるか？
- ・主なメッセージ、結論は何か？
- ・そのメッセージ、結論の根拠となる分析（計算）結果は、どのようなものか？

（具体的な数値にも言及してください。）

- ・その分析（計算）結果を得るために、どのようなデータやモデルを用いたか？

西郷浩ゼミ復学者向け選考希望者

課題：公的統計を分析し、それにもとづくレポートを作成しなさい。A4
用紙を使用すること。

提出場所：学部事務所

提出期限：2018年3月13日（火）17:00

鎮目雅人ゼミ復学者向け選考希望者

2018 年度鎮目ゼミ課題

下の文章は、ある首相の施政方針演説の一部である。この内閣が成立してから冒頭に述べられている「金の輸出解禁の實行」に至るまでの経緯と、その背景について 1000 字以内でまとめなさい。なお、その際に参考にした文献・資料を付記すること。

金の輸出解禁の實行は、政府の重要政策の一として夙に之を中外に聲明し、内閣成立以來著々之が準備を整へ、既に申述べたる通り財政緊縮、公債整理、消費節約の諸事項を實行すると共に、漸を逐うて在外正貨の充實を圖り、昨年六月の末、即ち現内閣成立の直前に於て、在外正貨の總額は僅に八千三百餘万圓に過ぎなかつたものを、其後爲替相場の強調を機として、徐々に在外資金を増加せしむるに勉め、昨昭和四年十一月即ち金解禁に關する大藏省令發布の當時に於て、其總額は既に三億圓を突破することになったのであります、此の如く我が在外正貨の地位は極めて鞏固なるものあるに加へまして、尚ほ海外金融中心市場との連絡を密接に致し、且つ一般國民に向つて十分なる安心を與へまするが爲に、別に英米兩國の市場に於て横濱正金銀行と英米銀行團との間に一億圓の信用設定契約を締結致しまして、又英米の中樞銀行からは特に日本の金解禁に對し、精神的の協力支援を吝まざる旨の好意を表明せられたのであります、一面に於きまして昨年の外國貿易は著しく改善せられ、……貿易の總額に於て増加したるにも拘らず、輸入超過の金額は一億五千六百餘万圓を減じ、……國債貸借上の改善は誠に顯著なるものありと申さなければなりませぬ、斯くて各種の條件の好轉に伴ひまして、爲替相場は堅實なる歩調を以て漸次騰貴致し、次第に平價に接近するに至つたのであります、是に於て内外諸般の準備全く整ひ、今や金解禁を實行するも之が爲め經濟上憂慮すべき事態を惹起するの虞なしとの確信を得ましたるに因つて、政府は昨年十一月二十一日金の輸取出締解除に關する大藏省令を公布し、本年一月十一日から解禁を實行致したのであります、斯くて我國は茲に名實共に完全なる金本位制度の復活を見るに至つたのであります、大正六年九月以來茲に十二年餘の星霜を経て金輸出禁止の障壁は撤廢せられ、國際經濟の常道に復することが出來たのでありまして、邦家の爲め御同慶に堪へざる所でありまして、是は畢竟國民全體の理解と協力との賜でありまして、私の衷心より深く感謝の意を表する所でありまして

中村慎一郎ゼミ復学者向け選考希望者

ゼミ希望者は、ライフサイクルアセスメント(LCA)について、企業の実施例を少なくとも一つ含むレポート(A4、4枚程度)を手書きで作成し、2018/3/14までに政治経済学部事務所へ提出してください。

船木由喜彦ゼミ復学者向け選考希望者

入ゼミのための 90 分の試験を行い、その結果を基に、面接します。
試験内容は拙著「ゲーム理論講義」全範囲です。

上田晃三ゼミ復学者向け選考希望者

現在の日本の景気について良いか悪いか議論しなさい。議論をサポートする材料として、少なくとも3つの時系列データを自分自身で集めグラフにすること。景気のタイムホライズンは2～8年程度とする。

提出先：政治経済学部事務所

締切：3月14日（水）17時

安達剛ゼミ復学者向け選考希望者

応募する学生は申請前に以下の URL を必ず参考にするこ

<https://goo.gl/oRU6Ru>

大湾秀雄ゼミ復学者向け選考希望者

課題：下記論文 (Mitchell, Levin, and Krumboltz 1999) を読んで、以下の質問に答えなさい。それぞれ A4 半ページ程度(最大 1 ページ)で答えなさい。

1、この論文の中でどの主張・記述が特に印象に残りましたか？何故ですか？

2、あなたの人生の中で、Planned Happenstance に相当する出来事がありましたか？どのような出来事でなぜ Planned Happenstance だと思うのか、説明しなさい。

課題の提出場所：owan@waseda.jp まで送ってください。

締切：15 日

課題論文：Planned Happenstance: Constructing Unexpected Career Opportunities

<http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1002/j.1556-6676.1999.tb02431.x/epdf>

星野匡郎ゼミ復学者向け選考希望者

課題

統計ソフト R を自身の PC にインストールし、四則演算など基本的な使用方法を確認しておくこと

久保慶一ゼミ 希望者へ

- ① 応募にはレポート課題の提出が必要です。これまでに読んだ中で最も面白かった社会科学の本または論文を1点選び、その書評を書いて提出してください（前半で内容を簡単に要約し、後半でそれに対するあなたの評価を述べてください。どのような点が面白かったのかに関する説明を必ず含めること）。書式自由（書評対象の書誌情報と提出者の氏名・学籍番号は必ず含めること）、字数は特に定めませんが目安として概ね3000字程度とします。レポートは、ワードファイルまたはPDFファイルで作成し、Eメールに添付して担当教員に直接提出してください（日本時間で3月13日午後10時締切）。レポートは英語で執筆しても構いません。提出先アドレスは、k.kubo@waseda.jp です。
- ② 応募人数が少ない場合は書類選考のみとする場合があります。面接の有無ならびに実施する場合の日時等については3月14日中に担当教員から直接Eメールで連絡しますので、申請用紙には通常確認するメールアドレスを必ず記載し、14日中に必ずEメールを確認してください。海外在住者などでスカイプ面接を希望する場合は、上記のレポート提出時にその旨申し出てください。

久米郁夫ゼミ復学者向け選考希望者

応募課題レポート

新聞・雑誌・メディアなどの記事・解説・評論で、自分がおかしいと思ったものをひとつ取り上げて、その言説の概要を要約した上で、それがおかしいと思う根拠を説明してください。(1000字から2000字程度)

レポートは、ワード文書あるいはPDFをメールに添付して提出してください。

締めきり 3月14日

提出先 kumezemi@gmail.com

小西秀樹ゼミ復学者向け選考希望者

課題：日本の政府部門では借金が大幅に膨らんでいて、国際的にも類を見ない状況に陥っているとされています。このことについて、以下の設問に答えたレポートを作成してください（それぞれの問いについて、図表を含めて A4用紙2枚（およそ1000字）以上を使って記述してください）。

（1）日本の政府分の借金は他の先進諸国と比べてどのくらい違ってきているのか、データを調べて確認しなさい（データの出所を明らかにすること）。

（2）もし何もしないでこのまま借金が増えたら、将来どうなると考えられるでしょうか。

（3）私たちは日本政府の借金を減らすような対策を何か講ずるべきでしょうか。理由を明らかにして説明してください。

（4）消費税を増税して借金を減らすという対策には、どのようなメリットがあるでしょうか、またどのようなデメリットがあるでしょうか。総じて、あなたはこの対策をどのように評価しますか。他にもっといいと思われる対策があれば、1つ提案してみてください。

提出締切：3月10日（土）

提出方法：PDFファイルをメールに添付

小西秀樹ゼミ復学者向け選考希望者

課題

DC.North 教授ノーベル賞受賞講演”Economic Performance Through Time” (The American Economic Review, Vol. 84, No. 3 (Jun., 1994), pp. 359-368)を読み、

1) まず、I~VI 節を簡潔に要約し、
2) 経済史（あるいは経済の動態）を研究する際に必要となる分析ツールや視点をあげ、なぜそれ（ら）が重要であるのかを論述してください。

- A4(40 字×30 行×7枚以上8枚以内)
- 3 月 9 日(金) 17 時までに事務所に提出してください。
- North 教授の論文が入手できない場合は、私まで連絡ください。pdf ファイルで送付します(skazumi1961@gmail.com)。

遠矢浩規ゼミ復学者向け選考希望者

【課題】

大学入学後から 2017 年 12 月までに読んだ社会科学の本（政治学、経済学、法学、社会学、国際関係など）または人文学の本（哲学、歴史学、芸術論、心理学、宗教学など）の中から最も関心を持ったものを三つ選び、その「おもしろさ」を紹介する評を書いてください。関心を持った理由についても言及してください。

【提出要領】

枚数は、A4 で 2～6 枚程度。書式は自由ですが事務所所定の表紙をつけてください。締切は 3 月 14 日（水）。事務所に提出してください。

戸堂康之ゼミ復学者向け選考希望者

課題

これまで書いた学術的なレポートで自分で最も優れていると思うものを、
yastodo@waseda.jp に 3 月 15 日までに提出してください。

Please submit any academic paper or report that you think is your best
to yastodo@waseda.jp by March 15th.

復学者のゼミ希望のみなさまへ（都丸潤子）

（注意事項）

- * シラバスを必ず参照してください。留学からの復学者、今後の留学予定者を含め、少なくとも3学期以上在籍される方を歓迎します。
- * 政治学科、経済学科の方々の応募も歓迎します。
- * 下記の課題を、期限内にメールの添付ファイルで提出してください。事前に面接時間を調整してご連絡しますので、課題送付後もメールチェックを頻繁に行い、メール本文に確実に連絡のとれるアドレスを明記してください。

（課題）

3月13日（火）までに、現在関心をもつ人の国際移動の事例について、なぜ、どのような点に関心を持っているか、自分に（研究も含めて）何ができそうか、を自分の言葉でA4用紙2枚程度にまとめて、メールの添付ファイルで j-tomaru(アットマーク)waseda.jp 宛に送ってください。

その際に面接時間連絡用のメールアドレスも明記してください。

（以上です）

中村理ゼミ 2018 年 3 月の選考

- 3 月期に当ゼミを検討される方は、事前にご連絡ください。こういった選考になりそうか、そこでご相談させてもらえればと思います。
- ゼミに入ることになった場合は、プレ演習と同等の内容を、演習とは別に、春学期前半にこなしてもらうことになります。これが、春学期の演習単位を取得する前提となります。

以下は、事前相談を終えた後の、面談本番についてです：

- 事前の提出課題はありません。
- 以下のいずれかを USB メモリに入れて、当日に持参してください。面談の場で 3~5 分ほど簡単にプレゼンしてもらえればと思います。
 - 採点したり精査したりするわけではありませんので、あなたがどのような人なのか以下を使って自由にアピールしてもらえればと思います。
- ゼミ研究で取り組みたい課題／今持っている問題意識
 - できれば ppt で持参してもらえればと思いますが、難しければ word か pdf でも可です。
 - この場合は基本的には申込用紙に記す内容を発表形式に組み立ててもらえれば OK です。
 - その課題について少し下調べもしてもらえるとなお良いでしょう。
- 早稲田大学に入学してからあなたが作成した授業レポートまたは発表資料等のうち、あなたが見せたいと考えるもの。
 - 提出済のものを作成しなおしても OK です。メディア関連でなくても OK です。どれを選ぶかという理由は、自分の問題意識を見せたい、自分が熱心に取り組んだ、分析がうまくいった、チームワークに大きく貢献したなど、なんでもかまいません。
- 授業外であなたが作成したレポートまたは発表資料のうち、今後のあなたのゼミ活動を教えてくれそうなもの。
 - サークルやウェブ上での発表物など、形式は問いませんので広く捉えてもらって結構です。どれを選ぶかという理由は上に同じです。